

製品名: EphA1 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80532

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	108kDa

抗原情報

遺伝子名	EphA1
別名	EPH; EPHT; EPHT1
遺伝子 ID	2041.0
SwissProt ID	P21709
免疫原	大腸菌で発現した EphA1 の精製された組み換え断片。

背景

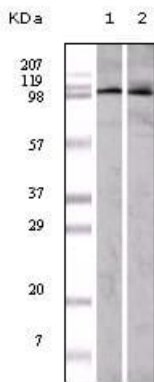
EPH 受容体 A1 (EphA1) は、976 アミノ酸 (約 107 kDa) のタンパク質から構成され、タンパク質チロシンキナーゼファミリーのエフリン受容体サブファミリーに属します。Eph サブファミリーは、現在までに同定された受容体タンパク質チロシンキナーゼの中で

最大のグループであり、そのリガンドであるエフリンは、エフリン A とエフリン B という 2 つの主要なサブクラスに分類されます。Eph 受容体チロシンキナーゼと膜結合型エフリンリガンドとの相互作用は、特に神経系において、細胞の移動および接着挙動を制御する双方向シグナル伝達を引き起こします。Eph 受容体チロシンキナーゼは、軸索誘導、血管新生、形態形成、発癌など、様々な発生過程に関与していることが示唆されています。

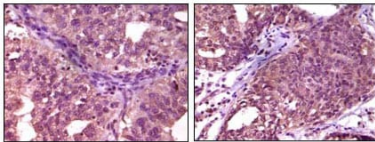
研究分野

-

画像データ



A549 (1) および HeLa (2) 細胞溶解物に対する EphA1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト卵巣癌 (左) および乳癌 (右) の免疫組織化学分析。DAB 染色による EphA1 マウス mAb を使用して細胞質の局在を示しています。